

番号	対象	課題・要望	課題・要望の内容	課題・要望の分析	対応策（案）
①	名古屋空港直行バス	バス停の移動（空港口）	空港方面行きの「豊山」バス停が、役場前から社会教育センター近くに移動し、家から遠くなったため、不便である。元に戻してほしいという要望が町民より寄せられた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動距離は約200m。</li> <li>・移動させたことにより、社会教育センターのターミナル機能強化につながった。</li> <li>・需要が多い三菱重工業の利用者の便に供することが必要と考える。</li> </ul>	現行のままとする（資料5）。
②	名古屋空港直行バス	バス停の移動（幸田）	町民より、名古屋空港直行バスの「幸田」バス停を、県道名古屋空港中央線の新栄歩道橋付近に移設してほしいという要望があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動距離は約100m。</li> <li>・新栄歩道橋付近に特別に公益性の高い施設等はない。</li> <li>・移動によって公共交通空白地域が拡大する。</li> </ul>	現行のままとする（資料6）。
③	とよやまタウンバス	県道の新設に伴う路線の変更	県道名古屋豊山稲沢線の新ルート供用開始に伴い、バス運行会社より、現行の路線よりもスムーズに運行できる路線の提案があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊山町商工会バス停」付近から、「豊山町役場バス停」間において、新しい県道名古屋豊山稲沢線の方が、道路幅も広く、バスの運行がしやすいと見込まれる。</li> </ul>	南北ルートともに、県道名古屋豊山稲沢線を運行する。併せて、豊山町商工会バス停を移動させる（資料7）。
④	とよやまタウンバス	南ルートの運賃改正	運賃の上昇率について、利用者の中に不公平感があることがアンケート等から明らかになった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運賃は100円刻みとしているが、「名古屋栄」「県庁前」から「北部市場東」までの運賃と、隣の「青塚古墳前」までの運賃の差は200円であり、不公平感の原因となっていると思われる。</li> </ul>	「名古屋栄」「県庁前」～「青塚古墳前」の運賃を下げることによって、バス停間距離に対する運賃上昇率の平準化を図り、利用者の利便性向上と増加を目指す（資料8）。